

研究分野	ヒューマンコンピュータインタラクション
キーワード	ヒューマンインタフェース, パーシャルキューレーション, ブラウジング, 情報視覚化, CSCW, ライブラリナビゲーション

情報オーバーロードに対峙する ヒューマンインタフェースデザイン

理工学部 共創理工学科 知能情報システムコース
教授 中島 誠 (Makoto Nakashima)

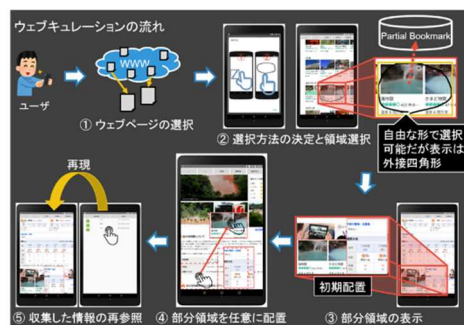


研究概要

創成時の想定を満たすかのように現在の WWW は、様々な種類と膨大な量の情報を流通させている。しかしながら、増加し続ける情報は、人間の処理能力の限界を超え、課題解決や意思決定に必要な情報収集が難しくなってきた。その人間の手助けをして、情報の海から新しい知見を見つけやすくするソフトウェアと人間のインタフェースをデザインしている。

【1】携帯端末上でのウェブキュレーションを促進するユーザインタフェースデザイン

ウェブキュレーションは、ウェブ上から集めた情報を再構築して再配信する行為。SNS に代表されるウェブキュレーションのサービスはウェブブラウザ上で利用できるが、携帯端末の限られた画面では、様々なウェブページを渡り歩くザッピングには不向き。本研究では、携帯端末上でも、情報収集時に、複数のページの任意の断片を参照しながら容易にザッピングが可能で、かつ、収集した断片をハイパーテキストとして再構築し易いブラウザのインタフェースデザインを行っている。



【2】ユーザの創作活動を支援するパーシャルコンテンツキュレーション

コンピュータを利用するユーザの作業は、様々な異質なアプリケーションを使いこなしながら行われる。ユーザがこれらのアプリケーションから必要な部分情報（パーシャルコンテンツ）だけをスムーズに選び出して、視覚的に情報を整理できる仕組みを構築している。任意のアプリケーションに対応して、コンピュータ上での Visual Thinking をより促進し、ユーザの創造活動を支援するため、単なるコピーツールでなく、アプリケーションの機能を有したままの複数のパーシャルコンテンツを集め、整理することができる。

アピールポイント（技術・特許・ノウハウ等）

【技術・特許 1】「コンピュータの CollaboTray」： 任意のアプリケーションをその内容の変更なしで、機能拡張できる技術。

【技術・特許 2】「新聞記事アーカイブシステム」： 大量の文書画像の視覚化技術。

【技術・特許 3】 タブレット端末を使った PC 操作インタフェース： 障がい者が使いやすいインタフェースデザイン

応用可能な分野

【1】 タブレットやスマートフォンなどの小画面端末を介した PC 制御インタフェースシステムの開発や、アーカイブシステム向けナビゲーションシステムの実現。

【2】 テーブル型や大型ディスプレイなど、複数人での協調作業に応じたアプリケーションのプロトタイプ作成。既存アプリケーションを取り込んだ新しいアプリケーション開発。